

横見ゼミナール

近鉄駅長お薦めフリーハイキング

『カレーパンウォーク・司馬遼太郎が暮した東大阪を訪ねて』

9月19日（土）に近鉄駅長お薦めフリーハイキング『カレーパンウォーク・司馬遼太郎が暮した東大阪を訪ねて』を実施しました。布施駅から八戸ノ里駅までの約9kmのコースの中で参加者の方には、自由にカレーパンのお店や歴史的建造物を巡っていただき、さらに学生が考えたイベントなどに参加していただきました。当日は晴天にも恵まれ、759名という沢山の方々にご参加いただきました。



▲写真① 受付の様子

ハイキング当日の主な活動は、受付・ガイド・パン屋さんでの呼び込みだったのですが、近鉄と横見ゼミと一緒にハイキングを企画するのは今回で4回目ということで前回までのハイキングを上回るようなものにしたいと思い、紙芝居と文字集めという学生が今回あらたに考えたものを企画しました。

紙芝居の内容は、カレーパンがどのように出来たのか？なぜカレーパンは東大阪で有名になったのか？というものであり、文字集めは、7つの各ポイントごとに学生が文字（ひらがな一文字）を持って立ち、その7文字の言葉が完成できていたら大阪商業大学で景品と交換できるというものです。



▲写真② 波牟許曾（はむこそ）神社でのガイドの様子

私たちの成果として、コース上にある施設の入場者数としては、司馬遼太郎記念館が148人、谷岡記念館が149人でした。さらに、パン屋さんでのカレーパンの売上個数と金額は、「金太郎パン」が40個で4,000円、「Matuya」が28個で4,340円、「ガンジー倶楽部」が49個で6,527円、「VIE DE FRANCE」が16個で2,560円、「Cook house」が36個で6,560円、「鳴門屋」が26個で4,160円となりました。また、近鉄にもたらされた運賃収入はアンケート調査に基づき推計すると、約24万円となりました。

横見ゼミの目的は、ハイキングを通じて地域の活性化をすることであり、今回のハイキングでは多くの経験を得ることができ、いくつかの課題も見つかったので、改善して次回のハイキングにつなげていきたいと思えます。